

横濱東西文化の ランデブー

2025
10/11
(土)
2026
1/12
(月・祝)

眞葛焼、横浜写真から横浜彫刻家具まで

Saturday 11 October 2025 to Monday 12 January 2026

East and West Rendezvous in Yokohama: Makuzu Ware, Yokohama Photograph and Yokohama Woodcarved Furniture from YAMAMOTO Hiroshi Collection



開館時間

9:30 ~ 17:00 券売は閉館 30分前まで

9:30 ~ 17:00 Last Admission 30 minutes before closing.

休館日

毎週月曜日（祝日の場合は次の平日が休館）

年末年始（12月28日～1月3日）

Closed on Mondays (except Holidays) year-end / New Year's recess
(28 Dec. 2025 to 3 Jan. 2026)

会場

横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、
2階常設展示室一部

観覧料

一般 800円、

小・中学生、横浜市内在住 65歳以上 400円

11月15日(土)・16日(日)は

第5回横浜スタチュー・ミュージアムのため、観覧無料。

¥800 for adults, ¥400 for primary and junior high school students,
and city residents 65 years old and above.

・本企画展観覧券で2階常設展示室、4階横浜都市発展記念館もご覧いただけます。

・毎週土曜日は、小・中学生、高校生は無料です。

・「身体障害者手帳」などをお持ちの方は無料です。

入館の際に手帳をご提示ください。



幕末の開港によって、横浜は東西の文化が往来する窓口となりました。西洋の文化や技術が日本に伝わり、日本の文化や伝統技術が海外に発信されました。さらに両者の衝突と融合によって、新たな文化が育まれました。「ランデブー」という言葉には「艦隊の集結地点」という意味もあります。横浜は東西の文化という艦隊が集結・対峙した場所と言えます。世界を驚嘆させた眞葛焼、和洋折衷様式の横浜彫刻家具、西洋と日本の技術が融合した横浜写真。これらの品々からは、激動の時代の中で、必死に生きようとした人びとの息づかいが伝わってきます。

■ 展示構成

- 第1部 眞葛焼 その誕生と盛衰
- 第2部 横浜写真と外国商館
- 第3部 横浜彫刻家具の世界
- 第4部 眞葛焼 万華鏡
- トピック：神奈川台場と勝海舟／横浜の洋楽器／横浜山手／芝山漆器

■ 展示解説

日時：2025年10月25日(土)、30日(木)、11月8日(土)、12月13日(土)、2026年1月8日(木) 各回とも14時から40分程度。
参加費無料（企画展観覧券が必要）

■ 関連企画

- ① パネル展「山手西洋館の保存～山手 133 番館」
協力：(株)三陽物産 観覧料無料 当館 1 階ギャラリー
- ② ミニ講座「山本館長、眞葛焼を語る」
講師：山本博士氏（宮川香山 眞葛ミュージアム館長）
日時：2025年12月6日(土) ① 11 時～ ② 13 時～。各回 40 分
定員：各回 40 名
場所：横浜ユーラシア文化館 1 階ギャラリー
参加無料・事前申込制先着順
- ③ 記念講演会
講師：山本博士氏
「こんなに集めてしまった……。横浜の記録を未来へ」
日時：2026年1月10日(土) 14 時～15 時半
定員：100 名。事前申込制先着順
場所：横浜市開港記念会館 1 号室
参加費：1,000 円 当日限り企画展観覧無料
②と③の申込方法：当館 HP でお申し込みください。
申込先：http://www.eurasia.city.yokohama.jp/exhibitions
1 申込につき 2 名様まで。同伴者のお名前（フリガナ）もお書きください。
定員に達し次第、締切ります。



横浜で生まれ育った実業家の山本博士氏は、郷土横浜を深く愛し、その文化や歴史を伝える様々な文物を国内外から蒐集されています。コレクションは眞葛焼、横浜写真、横浜彫刻家具、洋楽器など、1000点を優に超えます。今回はその中から約200点の逸品を紹介します。西洋と東洋が出会った街、横浜。そこで生み出された特色ある品々で充たされた空間に身を置いた時、私たちは何を感じ取るのでしょうか。

表面資料 水辺二鶴細工花瓶（一対の内） 初代宮川香山 1876(明治9)年頃～1882年頃 H. 49cm ㉑
横浜彫刻家具 アイリス意匠椅子 明治末～大正期 H. 103cm ㉒
横浜写真 横浜海岸通り 1895(明治28)年頃 手彩色 H. 20cm ㉓

企画展連携ガイドツアー

- 主催：NPO 法人横浜シティガイド協会・横浜ユーラシア文化館
協力：(株)三陽物産
- ①～③：展示会場で明治大正期の文物を解説付きで堪能した後、実際に展示資料ゆかりの場所を訪ね歩いてみませんか。オリジナル・ポストカードを進呈。集合場所は横浜ユーラシア文化館、集合時間は9時半、参加費は1,500円、②は別途みなとみらい線の乗車賃が必要。
 - ① 大人の塗り絵と港よこはま散策
明治の横浜港の風景写真の塗り絵を楽しんだ後、実際にその現場に足を運びます。
開催日：①10月24日(金) ②11月12日(水) 定員：各回10名
 - ② 古写真の風景・山手を歩く
山手本通り・外国人墓地などの散策後、山手133番館まで足を伸ばします（外観見学）。
開催日：①11月1日(土)、②12月3日(水) 定員：各回40名
 - ③ 山下居留地・展示資料の現場を訪ねる
明治大正期に、横浜彫刻家具や銀食器などを扱っていた外国商館跡地などを訪ね歩きます。
開催日：①11月6日(木)、12月20日(土) 定員：各回40名
 - ④ 館長サロン講座と宮川香山 眞葛ミュージアム
ザ・ロイヤルカフェ 横浜モンテローザでの茶菓と山本館長の講座、周辺地域の歴史ガイドツアーの後、眞葛ミュージアムを貸切見学します。
横浜ユーラシア文化館企画展割引券付。
開催日：①11月25日(火) ②12月18日(木) 定員：各回36名
参加費：2,500円 集合時間と場所：各回9時半、JR 横浜駅北改札。
- 詳しいコース紹介と申し込みは、横浜シティガイド協会のHPよりお願いします。
- 横浜シティガイド協会 [検索](#)



山本博士氏プロフィール
老舗洋菓子店「横浜モンテローザ」を経営する(株)三陽物産 代表取締役。「お菓子を通じて横浜の歴史・文化を継承する」をスローガンに、地域貢献活動として宮川香山 眞葛ミュージアムの運営や山手西洋館(133番館)の保存活動を展開するとともに、神奈川台場地域活性化推進協会 理事長もつとめる。横浜生まれ。横浜市立大学 大学院修士課程修了。公私にわたり横浜の歴史・文化の継承に尽力している。

- 1. 眞葛焼 招福金彩猫撫香炉 初代宮川香山 1876(明治9)年頃～1882年頃 H. 32.5cm ㉑
 - 2. 眞葛焼 磁製緑軸蓮画花瓶 初代宮川香山 1901(明治34)年頃～1904年頃 H. 30.5cm ㉒
 - 3. 応需 藤花文蓋付フイヨンカップ 井村彦次郎商店 明治中期～後期 受け皿直径13.8cm ㉓
 - 4. ルンゲ・トマス商会置時計 明治期 H. 15.3cm ㉔
 - 5. 横浜芝山漆器 飾り棚 明治期 H. 165.8cm ㉕
- ㉑ 山本博士氏所蔵（宮川香山 眞葛ミュージアム寄託）
㉒ ㈱三陽物産（宮川香山 眞葛ミュージアム）所蔵 ㉓ 山本博士氏所蔵



横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453
http://www.eurasia.city.yokohama.jp/
12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama, Japan 231-0021



アクセス

- みなとみらい線日本大通り駅
3番出口から徒歩0分
- JR 関内駅南口・市営地下鉄関内駅
1番出口から徒歩約10分
- 市営バス「日本大通り駅東庁前」下車
徒歩1分